

(数学) 科 (数学Ⅱ) 学習指導案					
日時	令和7年6月12日(火)第2限			授業者	大久保 正明
学級	2年2組	教室	2年2組教室	使用教科書	数学Ⅱ(数研出版)
単元	第3章 図形と方程式			内容のまとめ	図形と方程式
単元の目標	1 座標と方程式を用いて、直線や円などの基本的な図形を代数的に表現し、その性質を理解することができる。 2 図形の交点、位置関係、軌跡などを方程式の観点から解析し、図形の構成や関係を論理的に考察することができる。 3 図形の性質を方程式で表現することの意義を理解し、それを身近な問題解決や他の分野への応用に活用しようとする態度を育てる。			指導計画	1 直線・平面上の点 …… 2時間 2 直線の方程式 …… 3時間 3 円の方程式 …… 2時間 4 円と図形的位置関係 …… 3時間 (本時はその3時間目) 5 軌跡と方程式 …… 3時間 6 不等式の表す領域 …… 3時間
単元の評価規準	知識・技能	座標や方程式の意味、およびそれらを用いた図形の表現方法について理解し、直線や円、軌跡などの基本的な図形の方程式や性質を理解できるようにする。			
	思考・判断・表現	図形の構成要素や関係を、方程式を用いて表現し、図形同士の交点や位置関係、条件に基づく軌跡を論理的に導くことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	1 日常の事象や数学的な問題において、座標や方程式を活用して図形の性質を探究しようとしている。 2 図形の性質と方程式との関係を理解し、それを用いた問題解決や新しい見方の発見に積極的に取り組もうとしている。			
本時の指導	主題	2つの円の共有点			
	前時の課題	2つの円的位置関係に関する練習問題を解いておく。			
	本時の目標	2つの円の共有点の求め方を理解し、それを数式や図を用いて説明できるようにする。			
	評価規準	2つの円の交点の座標を、方程式を連立する過程を通じて論理的に導き、その手順や考え方を数式や言葉で適切に表現することができる。(思判表)			
この過程	学習活動		時間	指導上の留意点	評価方法、資料等
	導入	1 前回の授業の振り返りをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・円の方程式、2つの円的位置関係について復習する ・連立方程式を解くことで交点の座標が求められることを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント
		2 共有点の求め方を確認する。	5		
	展開	1 2つの円の共有点の座標を求める。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに考えさせる。 ・2つの共有点を求めて解く方法を考えさせる。 ・円束の解き方を示す。 	【評価方法(思判表)】 ○授業プリントの記入内容 ○グループ活動の観察
		2 2つの円の共有点を通る円の方程式を求める。	15		
整理	本時のまとめと自己評価を行う。		10	<ul style="list-style-type: none"> ・Formsの自己評価アンケートに回答させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Forms
備考	普通科 生徒数 36名				